

# SBC 悪夢の最終回

SBC 4 - 5x 某MS

平成28年7月23日、東邦スタジアムにて、SBC（ソフトテックスベースボールクラブ）対某MSとの試合があった。某MSとは今季2度目の対戦となった。今回も前回と同様、手に汗握る接戦となった。

2点ビハインドで迎えた最終回の表、SBCの攻撃。外林の出塁を皮切りに、河野（章）の適正打で1点を返した。なおも石神の3塁打で同点に追いつくと、大下の1打で逆転に成功した。

最終回の裏を0点で抑えることができればSBCの今季初勝利であったが、そんな簡単に勝たせてもらえる訳もなく、まさかの逆転サヨナラ負けを喫した。

## 勝ち越しタイムリーヒット 大下

もし、この試合勝っていれば「打」のヒーローは間違いなくこの男であろう。前述にもあるように一時は勝ち越しとなるタイムリーヒットを放った。最終回2アウト、想像を超えるプレッシャーのかかる中、あの場面でヒットを打つとは大したものだ。

## 復調の兆し 河野（章）

今季初試合に臨んだ河野（章）。調子がまだ戻っていないかったのか？第3打席までまさかの凡退であった。しかし、そこは流石はキャプテン。最終回で回ってきた第4打席目にきっちりヒットを打ち、打点を付け、さらには盗塁も決めた。

SBCが得点するためには、河野（章）の存在・活躍は絶対に欠かせないものである。

好投も報われず… 富永

4回から登板した富永。今回は明らかにいつもと違った。毎回ランナーは背負うものの、要所を締め、相手に得点を許さなかった。最終回に連打を浴び、敗戦投手となってしまったが、4〜6回まで相手のスコアボードに「0」を刻んだ彼を誰も責めることはできないだろう。

## 今回の総



前回、私はこの場で、「打つ人が打ち、抑える人が抑える」このことを課題にあげた。今回の試合はどうだっただろうか？

クリーンナップ3人で6安打。投手は7回で5失点。個人の評価ではあるが、今回は、合格点と言って良いだろう。特に富永投手に関しては、いつも以上のパフォーマンスを我々に見せてくれた。

ただ、今回は相手の好守に阻まれ得点を重ねることができなかった。これが今回の最大の敗因である。

今回の課題はズバリ、「得点力」だ。



力投する富永と(上)、タイムリーヒットを放つ大下

### [試合結果]

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
SBC	1	0	0	0	0	0	3	4
某MS	2	1	0	0	0	0	2X	5

### [投手成績]

氏名	投球回	奪三振	失点
床島	3回	0	3
富永	4回	2	2

## SBCメンバー募集中!

○次回の試合は、未定となっております。

☆ これからも皆様の応援よろしくお願い致します ☆

(記者: 西田宏伸) 【第12回 SBC速報】

打順	守備	氏名	打席	安打数	打点	四死球	出塁
1	左	西田(宏)	3	0	0	0	0
2	二	河野(章)	4	1	1	0	1
3	右	押川	4	2	0	0	2
4	遊	石神	4	2	1	1	3
5	捕	大下	4	2	1	0	2
6	三	(助っ人)	3	0	0	1	1
7	投	床島	2	0	0	0	0
8	一	木原	2	0	0	0	0
9	中	富永	3	0	0	0	0
		工藤	1	0	0	0	0
		西田(悠)	1	0	0	0	0
		外林	1	0	0	0	0
		八木	1	0	0	0	0
		河野(裕)	0	0	0	0	0